

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和7年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議																																														
2	開催日時	令和7年6月24日（火） 18時30分～19時25分																																														
3	開催場所	Z o o mによるオンライン及び富津市役所5階 502・503会議室																																														
4	審議等事項	（1）在宅医療・介護連携のための現状把握について （2）令和7年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について																																														
5	出席者名	<p>（委員）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹内 修</td> <td>来庁</td> <td>田中 計</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>北湯口 広</td> <td>来庁</td> <td>熊切 篤</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>水町 裕義</td> <td>Z o o m</td> <td>大島 拓二郎</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>中野 匡</td> <td>来庁</td> <td>宮野 京子</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>西川 加代</td> <td>来庁</td> <td>鈴木 真志</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>牧 達人</td> <td>来庁</td> <td>有江 直樹</td> <td>Z o o m</td> </tr> <tr> <td>深牧 大輔</td> <td>来庁</td> <td>村田 泉</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>門屋 千鶴</td> <td>来庁</td> <td>三辻 暁美</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>溝口 麻理子</td> <td>来庁</td> <td>成田 孝文</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>藤野 雅一</td> <td>来庁</td> <td>成田 政勝</td> <td>来庁</td> </tr> </tbody> </table> <p>（事務局）</p> <p>健康福祉部長 小野田隆博、介護福祉課長 中山貴弘、 高齢者支援係長 西野雅則、主事 斎藤美咲、社会福祉主 事 佐久間瑛大</p>			氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法	竹内 修	来庁	田中 計	来庁	北湯口 広	来庁	熊切 篤	来庁	水町 裕義	Z o o m	大島 拓二郎	来庁	中野 匡	来庁	宮野 京子	来庁	西川 加代	来庁	鈴木 真志	来庁	牧 達人	来庁	有江 直樹	Z o o m	深牧 大輔	来庁	村田 泉	来庁	門屋 千鶴	来庁	三辻 暁美	来庁	溝口 麻理子	来庁	成田 孝文	来庁	藤野 雅一	来庁	成田 政勝	来庁
氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法																																													
竹内 修	来庁	田中 計	来庁																																													
北湯口 広	来庁	熊切 篤	来庁																																													
水町 裕義	Z o o m	大島 拓二郎	来庁																																													
中野 匡	来庁	宮野 京子	来庁																																													
西川 加代	来庁	鈴木 真志	来庁																																													
牧 達人	来庁	有江 直樹	Z o o m																																													
深牧 大輔	来庁	村田 泉	来庁																																													
門屋 千鶴	来庁	三辻 暁美	来庁																																													
溝口 麻理子	来庁	成田 孝文	来庁																																													
藤野 雅一	来庁	成田 政勝	来庁																																													
6	公開又は 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開																																														
7	非公開の 理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)																																														

8 所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0439-80-1300
9 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
事務局 (西野係長)	<p>定刻となりました。</p> <p>本日欠席される旨のご連絡をいただいている方、および不在の方もいらっしゃるかもしれませんが始めさせていただきたいと思えます。</p> <p>本日はZ o o mによりご参加いただいている委員の方もおられます。聞き取りにくい等の支障がございましたら、遠慮なく手を上げてアピールしていただければと存じます。</p> <p>Zoom でご出席の方は聞こえていらっしゃいますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは会議を始めます前に、配付資料の確認をいたします。</p> <p>お配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 名簿 ● 議題（１）関連資料「在宅医療・介護連携のための現状把握について」（A４の横版のものです） ● 議題（１）関連資料「委員所属団体等での取組み一覧」（A３版のものです） ● 議題（２）関連資料「令和７年度在宅医療・介護連携推進会議年間予定表」 ● 議題（２）関連資料「令和７年度在宅医療・介護連携推進会議の年間予定について」 ● マイライフノート ● 君津圏域多職種情報共有システム利用申込書・誓約書（バイタルリンクの申込書です） ● バイタルリンク利用の手引き

	<p>です。</p> <p>不足がございましたら、資料をお持ちしますので、挙手をお願いいたします。</p> <p>Z o o mでご参加の方は、事前に送付した資料をご覧いただくか、会議中に画面共有をした資料をご覧いただければと存じます。</p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>また、本会議の傍聴についてお知らせします。</p> <p>富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、市の付属機関等である審議会等の会議は一部の場合を除いて公開で行うべきものとされており、同条第2項の規定により何人も公開された会議を傍聴することができることとされております。</p> <p>この規定により、本日、会議を傍聴される方がいらっしゃいますので、ご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴人の方にお問い合わせ申し上げます。傍聴受付の際にお渡ししました傍聴証に記載してありますとおり、会議の進行を妨げる発言、行動をされないようお願いいたします。このような行為があった場合は、直ちに退席いただくこととなりますので、ご注意願います。</p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>それでは、ただ今より、令和7年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めます。</p> <p>また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。</p> <p>お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、小野田健康福祉部長からごあいさつを申し上げます。</p>

小野田部長

みなさん改めましてこんばんは、健康福祉部長の小野田と申します。

令和7年度第1回在宅医療・介護連携推進会議会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

委員の皆さまには、公私ともご多用の中、またお疲れのところ、本日はご出席を賜り誠にありがとうございます。

また日頃から在宅医療と介護の連携推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、皆さまご承知のとおり、わが国では少子高齢化が進んでおり、富津市におきましても、在宅医療・介護連携推進会議発足時の平成29年度の高齢化率（65歳以上人口）は、35.30%でありましたが、本年の4月時点で39.98%と、4.68ポイントの増となっております。

さらに、今年度は団塊の世代が後期高齢者となり、ますます医療と介護のニーズは高まり、在宅での生活を希望する方もより多くなるものと思われれます。

このような高齢化が進む中で、『第9期介護保険事業計画』の基本理念であります「高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち」の実現のため、医療と介護の関係者の皆さまと情報の共有、また連携は不可欠であると考えております。

委員の皆様には、引き続きのご理解ご協力を、またご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日の議題は、在宅医療介護連携のための現状把握について他1件でございます。

皆様方の忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

結びに委員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。簡単ではありますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。

	<p>本日はよろしくお願ひいたします。</p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条に「会長は議長となる」と規定されていますので、竹内会長に議事進行をお願いいたします。</p>
<p>竹内議長</p>	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>有江委員を議事録署名人に指名しますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>議題第1号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (西野係長)</p>	<p>議題(1)「在宅医療・介護連携のための現状把握について」説明いたします。</p> <p>A4版資料2ページをお開きください。第9期富津市介護保険事業計画において、「高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らせるまち」という富津市の基本理念を掲げております。その理念を実現するための目標と施策があり、目標2「在宅生活が継続できる体制を整備する」ための施策として、在宅医療・介護連携の推進があります。</p> <p>3ページをお開きください。令和7年4月1日時点では、富津市の高齢化率は39.98%となっております。</p> <p>4ページをお開きください。こちらの表は、富津市の医療・介護の事業所等の数を示しております。</p> <p>5ページをお開きください。こちらのグラフは、富津市の人口の推移を示しております。今後も総人口は減少する一方、</p>

高齢化率は上昇し、生産年齢人口の割合は減少していくことが見込まれています。

6 ページをお開きください。こちらの表は、要介護認定者数や認定率の推移を示しております。認定率も概ね上昇傾向で推移しております。

7 ページをお開きください。医療や介護、生活支援と介護予防が一体的に提供されることにより、誰もが住み慣れた地域で暮らすことのできる「地域包括ケアシステム」を構築することを目的に、地域支援事業という市が取り組むべき事業（手段）があります。

介護保険事業は、国が全国一律の基準を定める保険給付と、市が自由に基準を定めることが可能な地域支援事業とに分かれます。

8 ページに進みまして、地域支援事業の構成をご覧ください。本日皆さまにご参加いただいている「在宅医療・介護連携推進会議」は、包括的支援事業の1つに位置づけられています。

9 ページをお開きください。要支援1・2という認定を受けた方は、食事や排泄などの日常の基本的な動作は一人でできるものの、身だしなみや清掃などに誰かの支援が必要な状態を指します。また、ご本人が活動的になることで、元の自立した生活に戻ることができる可能性がある方々です。

要支援1・2の方々への関わりの入口として、まずは困りごとをお聞きします。次に、困りごとの改善に向け、総合事業として、フレイルサポーターの活動や住民主体のサロンなどの多様な取組により、誰かの手助けが必要な状態から元の生活に戻すための支援を実施します。

ご本人の状態が改善できたら、出口の充実ということで、生活支援コーディネーター等が百歳体操や趣味の活動などの

社会資源につなぐことで、改善した状態を維持できることを目指します。

本来は、地域ケア会議という、専門職や民生委員等の方々など、色々な方の意見をお聞きする会議の中で、方針を決めていくのが理想となっております。

このような関わりの中で、必要なときに医療サービスを利用したり、認知症の早期発見・早期対応を行ったりします。

10ページをお開きください。こちらは、要介護1～5ということで、認知症を発症している方や、食事や排泄に介護が必要な方への関わりを示したものです。こちらでは、ケアマネジャーに介護保険サービスを調整していただくことで、生活を支えていくこととなります。ただ、介護保険サービスで補いきれない部分は、宅配やサロンなどインフォーマルサービスを活用していきます。

11ページをお開きください。ここからは在宅医療と介護連携の話となります。厚生労働省発行の「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」では、在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面を意識した取組みが必要であることと、4つの場面ごとに目指すべき姿を設定することが重要であることが示されております。

12ページをお開きください。富津市においては、令和4年度に本会議にて、場面毎に目指すべき姿を設定していただきました。

日常の療養支援の場面では、「本人とご家族がどちらも、治療や介護サービス等を継続して活用し、健康管理や気持ちの変化を専門職で共有することにより、在宅で安心して暮らすことができる」、入退院支援の場面では、「本人の心身状態を把握したうえで体調の変化を早期に発見し、再入院のリスクを回避すると同時に、在宅での生活を継続する」、急変時の対

応の場面では、「医療と介護、救急が連携することにより、本人の意思を尊重したうえで、急変時に適切な対応ができる」、看取りの場面では、「最終的に、すべての人がよかったと思える理想の最後を迎えられるような看取りができるようにする」ということです。

場面毎の目指すべき姿を実現していくことで、「住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち」を目指していきます。

13ページをご覧ください。目指すべき姿を実現するための対応策①は相談支援です。富津市では、「医療介護連携地域相談サポート医設置事業」というものを行っています。

これは、受診拒否等のケースについて、地域包括支援センターを通じて、三枝先生をはじめとした地域相談サポート医に「相談」と「質問」ができる仕組みです。木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市が君津木更津医師会へ事業を委託して実施しています。

14ページをお開きください。対応策②は、地域住民の普及啓発です。マイライフノートの配布等を行っております。令和6年度は、令和6年11月にマイライフノート活用セミナーを実施いたしました。また、今年度は、一部改正したものを配布しております。

15ページをお開きください。対応策③は、医療・介護関係者の情報共有の支援ということで、君津四市ではバイタルリンクの運用を開始しております。グループラインのように、メッセージや添付ファイルのやり取りをしたり、グループでZoomの打合せを行ったりすることもできます。

16ページをお開きください。こちらは、令和5年度から活動を始めた高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のイメージスライドです。この事業は千葉県後期高齢者医療広

	<p>域連合から委託を受け、地域の関係機関と連携し、後期高齢者に対する保健事業を、国民健康保険の保健事業や、介護保険の地域支援事業と連動させながら一体的に実施するものです。</p> <p>フレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、健診結果などを活用して地域の健康課題を把握し、地域包括支援センターと連携し、医療専門職が積極的に関わることで、高齢者が住み慣れた地域で可能な限り、自立した生活と社会参加ができるように目指しています。</p> <p>スライド中央あたりの「⑦医療専門職が通いの場等にも積極的に関与」という部分につきまして、富津市では、健康づくり課の管理栄養士・保健師・歯科衛生士がいきいき百歳体操のグループに出張して食の改善やオーラルフレイル予防などの健康教育を実施することで、生活機能の改善に向けたアプローチ等を実施しております。</p> <p>現状把握について、説明は以上となります。</p>
<p>竹内議長</p>	<p>はい、説明は終わりました。何か質問等ございませんでしょうか。</p> <p>藤野委員どうぞ。</p>
<p>藤野委員</p>	<p>天羽包括支援センターの藤野です。いつもお世話なってます。</p> <p>今更言うかって言われちゃうかもしれないですけど、資料なんですけど、例えば3ページ目4ページ目の資料なんですけど、これできたら、この富津市の現状っていうトータルのやつはありつつ、例えば高齢化率にしても要介護認定者数にしても65歳以上人口にしても、各エリアごと富津・大佐和・天羽エリアに分けての資料もあった方がより危機的な状況というの</p>

が明確化するんじゃないかなというのは皆さんと共有できるんじゃないかなというふうに思います。

それから次のページに関しても、富津市の現状ということで社会資源のページがあるんですが、これはこれでいいと思うんですけど、これ更にやはり3エリアに分けてやっていただくのとどこに何のサービスが不足しているのかということがより明確化になるんじゃないかなというのと、なんでこんなこと言うかということ、天羽地区は富津市の面積の70%以上を占めるエリアになるので、これ単純にこのままこんなに富津市にサービスがあるんだで終わられちゃうと困っちゃうと、もう一つ、もっとさらに細かいこと言うのであれば、居宅介護支援事業所14ヶ所ってありますけど、これに関しては、もう各エリアごとでっていうのも提示してもらおうとともに、ここはケアマネの人数がないとあんまり意味がないかなっていう。

要は、資料の3ページのところで65歳以上人口が16,060人いてその中で要介護認定者が3,077人いるに対してケアマネがどの程度いるのか、それが各エリアでどのぐらいなのかっていうことを合わせて3ページのところでも、要介護認定者数が各エリアでどのぐらいいるのかというところで対比していくと天羽地区ケアマネ足りないんだと、実は足りないんですけど、それを数で明確にしていく方が今後の社会資源の開発等に関してより危機的な状況がわかりつつ議論が進むんじゃないかなという風に思うので、ご担当者の方に負担ばかりかかるお願いで申し訳ないんですが、多分そういうふうにした方が、富津市、それから各エリアでの過不足ですとかこれから将来的に渡っての懸念などがでて、医療機関も15ヶ所ありますけど、これずっと15ヶ所あるわけじゃないのは当然ほぼ明確な話なので、将来にわたっての話をする上で

	<p>も資料を細分化していただけたらいいかなと思います。</p> <p>なんでこんなこと言うかという、地区では地域ケア推進会議ということで年間三、四回地域住民と会議やってるんですが、市の方から提示されている人口動態例えば2045年までの人口の推移ですとか、具体的な数値を示して住民に話をするとかかなり皆さんね危機感を持って何とかしなきゃいけないという気になるんです。</p> <p>このメンバーの中でもそういったことが数値として把握することで、議論すべきことが明確化するじゃないかなと思いますので、ごめんなさいごちゃごちゃいろんなこと言っちゃいましたけども、もし検討していただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>事務局どうぞ。</p>
事務局 (西野係長)	<p>ただいま藤野委員からご提案のありました富津市の現状等についてエリアごとですとか、そういった詳細での記載については今後検討してまいりたいと思います。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
竹内議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか、ご意見ご質問などよろしいでしょうか。</p>
委員	(なし)
竹内議長	<p>それでは、各委員からそれぞれの所属団体等で令和6年度及び今年度に取り組んでいる施策について、情報交換を始め</p>

	<p>ます。</p> <p>議題第 1 号関連資料「委員所属団体等での取組み一覧」をご覧ください。</p> <p>まずは、医師会から説明いたします。</p> <p>会議研修等の概要でございますけども、下記小委員会を実施しております。</p> <p>1 在宅医療介護連携と研修、2 認知症医療介護の連携と研修、3 地域住民の普及活動、4 在宅医療介護連携相談支援（市の事業を受諾）、5 入退院時支援。</p> <p>下に参りまして、左記の多職種からなる協議会、在宅医療介護ケア委員会の実の小委員会からなるケア委員会、4市の各部会と連携を図ると。あと令和6年度の実績でございますけども、令和6年12月5日でございますけども、君津圏域在宅医療コーディネーター研修会を行っております。</p> <p>令和6年11月21日、第9回君津木更津地区四市ケアマネジャー連絡協議会及び第8回君津木更津地区四市地域包括支援センター連絡協議会を合同開催しております。</p> <p>令和7年度の取り組み予定でございますけども、医療介護連携地域相談サポート医の設置事業を継続してまいります。</p> <p>医師会としては以上でございます。</p> <p>続きまして、歯科医師会については、熊切委員にお願いいたします。</p>
熊切委員	<p>歯科医師会の方ですが、県の歯科医師会が主催でしている事業で、歯科のない病院や介護施設等に勤務されている方へ、口腔に関する知識や技術向上していただけるよう研修会を行うということで、しています。</p> <p>令和6年度の実績は、介護保険施設等における個別研修会ではありますが、摂食嚥下の指導になります。</p>

	<p>あと認知症対応力向上研修会、これは会員向けだとも思います。</p> <p>あと在宅歯科医療推進に関する育成研修会、これも会員向けだとも思います。</p> <p>7月よりオンデマンドのハイブリッド研修を開催していますと。</p> <p>令和7年度に関しては、県の執行部が新しくなるにあたってまだ新メンバーが決まったところなので、事業が未定となっていますが、昨年同様継続して行われるものと思われます。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>薬剤師会については、大島委員にお願いします。</p>
大島委員	<p>君津木更津薬剤師会の大島です。</p> <p>薬剤師会に関しましてはですね、例年同じようなことを継続しているというところでございます。</p> <p>薬剤師を育てるというところではですね、地域に根ざした薬剤師の薬局定着養成事業というのがあります。まだ全薬局がですね在宅に関係しているというわけではないので、いかにその我々薬剤師薬局もどんどんやる薬局を広げていくかといったところで、実際のやってる薬局に対してですね、これからやろうとしてる薬剤師に研修をしてもらうというような事業を行っております。</p> <p>これは昨年度、3件ありました今年も同じぐらいの人数を予定しております。</p> <p>その下、高齢者お薬教育これはですね、介護それから在宅の患者さんも含めてですね、在宅における薬剤師の役割というところのご理解がまだできてないという現状もあるということをご考慮してですね、各施設もしくは地域ですね、地区</p>

	<p>社協とか言ったところでそういったところの在宅における薬の管理をどうしたらいいかとか言った含めてですね、お話をさせていただくということをしていただいております。</p> <p>これは各エリアの薬剤師に任せてるようなところもありますので、これは徐々に徐々に広げていこうかというふうに考えております。去年は1件認知症に関してのお薬の理解と予防といったところでの話をさせていただきましたけども今年もまた同じような内容で予定をしております。</p> <p>あとは同じようなことではありますけども、お薬の相談会というのを特定健診のときにも行っておりますので、これにおきましてもですね、いろんな質問に答えることで在宅における薬剤師の意義といったところを広げていこうかというふうにしております。</p> <p>今年はまだもう1回、6月1日に行われておりますけどもまた昨年同様ですね、3回ぐらいを予定しております。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>訪問看護については、三辻委員にお願いします。</p>
三辻委員	<p>はい。</p> <p>訪問看護は君津地域の訪問看護を繋ぐ会というものがあましてこちらを行っております。</p> <p>訪問看護同士で繋がりまして情報交換また災害時等に備えて連携が組めればということを目的に会議が行われております。</p> <p>年4回、対面で令和6年度は開催しました。内容としてはBCPまた法定研修また困難事例など情報交換をしております。</p> <p>令和7年度、年4回開催予定で既に6月1回終わっており</p>

	<p>ます。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>リハビリ職団体については、牧委員にお願いします。</p>
牧委員	<p>リハビリ職団体ではまず1番目に、君津地域リハビリテーション連絡協議会というものを、君津地域リハビリテーション広域支援センターを主催で毎年1回行っております。</p> <p>こちらは連絡協議会等の開催を通じた支援体制の構築、地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力、リハ職不在関係機関に対する相談支援などを目的に行っております。</p> <p>昨年度は令和6年6月7日に対面にて行われております。</p> <p>内容としましては広域支援センター活動の周知について、広域支援センター事業の前年度実績および事業計画についてですね。</p> <p>また君津圏域の地域課題や課題に対する取り組みについてを内容として行っております。</p> <p>令和7年度に関しましては、6月19日に開催されております。</p> <p>続きまして君津圏域公開フォーラムというものを行っております。こちらもしリハビリテーション広域支援センターが主催で、圏域の市民に対して健康に関するあらゆる情報の提供を目的に、令和6年度は9月21日土曜日に『きみフェス!!2024』という名前で開催しております。</p> <p>この年は壮年層からの健康作り、高血圧の予防改善をテーマとしておりました。</p> <p>テーマ対応に沿った講演、テーマに関するブースでの健康チェック、またあらゆる体験ブースが置かれておりました。</p> <p>今年に関しましては、『きみフェス!!2025』という名前で9</p>

	<p>月 27 日土曜日、認知症をテーマに行われます。</p> <p>医師やコメディカルの講演、テーマに沿った健康チェックや情報提供ブースの作成、住民主体の活動紹介や交流の場の提供を行う予定です。</p> <p>最後に君津圏域 P O S 連主催研修会を行っております。</p> <p>こちらは機密検疫 P T ・ O T ・ S T 連絡協議会、こちらを広域支援センター共催で年に 1 回程度会員間の連携を図るとともに、技能地知識の向上を目的に関心の高いテーマについて研修を行っております。</p> <p>昨年度は、令和 7 年 1 月 31 日、移動支援をテーマに講演を行っていただきました。</p> <p>44 名が参加されまして、移動支援に関する制度や実際の取り組み事例、君津圏域における既存の資源などについての研修を行っております。</p> <p>今年度につきましては、令和 8 年 1 月 30 日に行う予定で、テーマは現在未定です。</p> <p>地域リハビリテーションに関わる施設団体職種を対象に研修会を行う予定となっております。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	訪問介護については、亀田委員にお願いします。
事務局 (斎藤)	<p>はい。亀田委員ご欠席のため、資料に記載のとおりとなります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
竹内議長	富津市ケアマネジャー協議会については、有江委員にお願いします。
有江委員	はい。富津市ケアマネジャー協議会の有江と申します。

	<p>令和6年度の実績といたしましては、医療・介護連携における研修を実施いたしました。</p> <p>令和6年11月15日に水町歯科医院の水町院長に講師していただき、『実践力向上！高齢者のお口の機能と口腔ケア～歯科医師との効果的な連携の仕方～』、それから令和7年3月17日は訪問看護ステーション花くじらの三辻代表を講師にお招きして、『ターミナル期における在宅療法について～家族支援・死期の兆候・家族の受け入れなど～』についての研修を実施いたしました。</p> <p>令和7年度につきましては、内容は未定ですが、何かしらの医療・介護連携についても検討中であります。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>介護老人保健施設については村田委員にお願いします。</p>
村田委員	<p>老人保健施設で君津安房地区老健ブロック会というのがあります。大体参加が老健の多職種ということで老健の中は多職種でいっぱいになってますので、毎年トピックに合わせた内容のものを実施されて、6年度はコロナ5類に移行したことによる感染対策、5類になったからって言って老健の感染対策が改善されるわけではなく、より強力になって感染経路としてはあるということでその研修と、それから今後の感染予防、コロナだけではないですよ、今後流行ってくるものはいっぱいありますのでそれについての展望を話し合っております。</p> <p>令和7年度の取り組みは毎年のトピックスに合わせてなのでまだ決定はされていません。</p> <p>あと、老人保健施設の協会としての研修ということで、これも多職種でやられてます。</p>

	<p>会議研修等の概要としては認知症、看取り、リスクマネジメント、在宅支援ケアの質を上げるための研修、これが主に行われていまして、全て WEB 開催でされていますので参加しやすい状況にはなっています。</p> <p>今年度は認知症短期集中リハビリ研修とそれから介護施設リスクマネージャー資格認定研修、認定いただけるということの研修をさせていただいています。</p> <p>職員基礎研修、中堅職員研修、それから看取りの研修ということで、これも全て今年予定されておりますのでまた期待したいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
竹内議長	<p>地域包括支援センターについては、事務局にお願いします。</p>
事務局 (佐久間)	<p>はい。「医療・介護連携地域相談サポート医設置事業」について、令和6年度は毎月第1木曜日に初期対応・難事例判定会議、第3木曜に医療相談検討会議を行っておりました。</p> <p>令和7年度の取組予定ですが、昨年度に引き続きバイタルリンクの導入により、日時を指定せずに、随時、サポート医の先生に相談・質問を受け付けていただくという体制を構築しております。地域相談サポート医による医療相談検討会議も毎月第3木曜に開催予定です。</p> <p>続きまして、訪問支援・アウトリーチということで、地域相談サポート医への相談案件のうち、受診拒否の事例等を対象に、サポート医の先生方に訪問支援を行っていただいております。随時、相談させていただきたいと思っております。</p> <p>藤野委員、溝口委員、成田委員、補足がありましたらお願いいたします。</p>

<p>藤野委員 溝口委員 成田委員</p>	<p>補足はありません。</p>
<p>事務局 (佐久間)</p>	<p>それでは、以上です。</p>
<p>竹内議長</p>	<p>認知症メモリーウオークについても、事務局にお願いします。</p>
<p>事務局 (佐久間)</p>	<p>はい。認知症メモリーウオーク千葉 in 富津と言うことで、介護施設関係者、ケアマネジャー、有料老人ホーム関係者の方々に実行委員会を組織いただきまして、メモリーウオークの開催に向けて話し合いを進めていただいております。概要としては、認知症に対する偏見を取り払い、認知症の理解を深めるため、市民啓発を目的に、イオンモール富津等でパレードを実施予定です。令和6年度は、令和6年4月～12月、月1回第3火曜日に実行委員会議を開催し、令和6年11月16日に認知症メモリーウオークを実施いたしました。令和7年度は、11月29日に認知症メモリーウオークを開催予定ですので、皆様にもご参加いただけたらと存じます。以上です。</p>
<p>竹内議長</p>	<p>市の取組みについても、事務局にお願いします。</p>
<p>事務局 (斎藤)</p>	<p>はい。最後に、市の取組みについてです。令和6年度は2回、会議を開催しました。</p> <p>在宅医療・介護連携部門のワーキンググループとしては、令和6年8月にバイタルリンク操作体験会、9月に暴力・ハラスメント研修、11月にマイライフノート活用セミナーを</p>

	<p>開催いたしました。</p> <p>認知症施策部門のワーキンググループとしては、令和6年11月に認知症メモリーウォーク千葉 in 富津を開催いたしました。</p> <p>令和7年度も同様に開催していきたいと考えております。</p> <p>現時点で、9月にバイタルリンク操作体験会、11月にマイライフノート活用セミナー、1月に暴力・ハラスメント防止研修会、令和8年2月に第2回在宅医療・介護連携推進会議の開催を予定しています。</p> <p>また市では、医師会、歯科医師会、薬剤師会で構成される三師会に対して、要介護認定者数やサービス受給者数、介護給付費、富津市いきいき百歳体操等の情報を共有しています。</p> <p>そして、先ほど「在宅医療・介護連携のための現状把握について」の中でも述べましたが、令和5年の4月から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業を開始しており、今年度も引き続き実施しております。</p> <p>市の取り組みについて、説明は以上です。</p>
竹内議長	<p>説明は終わりました。ご質問とかご意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
竹内議長	<p>質問もないようですので、以上をもって議題第1号を終了します。</p> <p>続きまして、議題第2号「令和7年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局	<p>それでは、議題第2号「令和7年度富津市在宅医療・介護</p>

(西野係長)

連携推進会議の方針について」説明いたします。

議題(2) 関連資料の「令和7年度在宅医療・介護連携推進会議年間予定表」及び「年間予定案について」をご覧ください。

昨年度の第2回会議において、委員の皆さまにグループワークにて出していただいた意見を参考に、今年度の予定を作成いたしましたので報告いたします。

まず、1枚目の年間予定表に記載しました令和7年度予定についてですが、本日第1回会議を開催しております。

続きまして、9月の平日夜間に、バイタルリンクの操作体験会を予定しております。講師は帝人ファーマの方に務めていただきます。

続きまして、11月に、マイライフノート活用セミナーを開催予定です。講師は千葉県行政書士会に依頼する予定です。市民の方に広く参加していただくため日曜日の日中の開催を予定しております。

続きまして、11月29日の土曜日には認知症メモリーウォーク実行委員会の主催にて、認知症メモリーウォーク千葉in富津を開催予定です。

続きまして、1月の平日夜間に暴力・ハラスメント防止研修会を開催予定です。講師は法テラス千葉から弁護士を派遣していただく予定です。

最後に、2月に第2回在宅医療・介護連携推進会議を開催予定です。

以上、年間予定をご説明いたしました。次にそれぞれの概要について説明いたします。予定表を1枚めくっていただき、「年間予定案について」という資料をご覧ください。

1つ目は、1. 多職種情報共有システム バイタルリンク勉強会(操作体験会)についてです。

ご存じの方も多いとは思いますが、バイタルリンクの特徴としては、以下のような特徴が挙げられます。

①「電子上の連絡ノート」というイメージであり、インターネット上で様々な職種の方が閲覧・コメントができます。

②多職種間で時間や場所に左右されずに情報共有を実現できます。

③バイタルデータを経時的に管理することができます。

④安心・安全のシステム設計とフォローアップ体制があります。

このシステム設計とは、通信情報の暗号化に加え、電子証明書とID・パスワード入力による2要素認証で情報を管理するものです。

⑤受け取る側の通知については、メール通知のほか、アプリのアイコンの部分に数字がつき、スタッフによって通知を変えることができます。

⑥費用については、管理者は月に税別で5,000円、利用者は無料となっています。

令和6年度に実施した内容としまして、帝人ファーマ株式会社の加藤様を講師に迎え、バイタルリンクの概要や活用のメリットについて紹介していただきました。また、その後、帝人ファーマが用意したタブレットを使用して、参加者の皆様に実際にバイタルリンクの操作を体験していただきました。当日は、11名の方に参加いただきました。

令和7年度の予定としましては、昨年度に引き続きバイタルリンクに実際に触れていただくことを主な目的として帝人ファーマ株式会社から講師を招き、操作体験会を実施予定です。

続きまして、バイタルリンクへの登録のお願いです。

バイタルリンクは、患者さんのグループをつくって患者さ

んの情報をやり取りするだけでなく、医療・介護事業所だけでグループをつくり、情報共有や意見交換の場としても使用することができます。

資料の裏面の組織図にあるように、富津市では富津市役所及び各包括が管理者として登録をしています。本日お手元に配布しました、「君津圏域多職種情報共有システム利用申込書・誓約書」を富津市介護福祉課へ提出し、バイタルリンクの登録をしていただきますようお願いいたします。

続きまして、3ページをご覧ください。2. マイライフノート活用セミナーについてです。

人生を振り返り、自身の情報や要望、希望をわかりやすくまとめ、残しておくことで家族を助ける手段のひとつとして、「富津市マイライフノート」を作成しました。

地域住民や医療・介護職の方々に対し、マイライフノートの普及啓発と活用を促進するためマイライフノート活用セミナーを実施します。

令和6年度には、千葉県行政書士会の高栗稔様、川出久男様をはじめ千葉県行政書士会の行政書士の方々を講師に迎え、マイライフノート活用セミナーを実施し、41名の方に参加いただきました。

マイライフノートの活用及び自筆証書遺言書についてをテーマに講義いただいた後、参加者の皆様には、講師のアドバイスを受けながらマイライフノートまたは自筆証書遺言書を実際を書くワークショップに取り組んでいただきました。

令和7年度は、昨年度に引き続き千葉県行政書士会から講師を招き、マイライフノート活用セミナーを実施する予定です。

続きまして、4ページをご覧ください。3. 認知症メモリーウォーク千葉in富津についてです。

「認知症の方が安心して暮らせるよう、認知症に対する偏見を取り払い認知症という病気の理解を深めるため市民に対して普及啓発を行う。」ことを目的として実施しています。

以下、さきほど議題（１）の取組み一覧でも述べた内容が含まれますが、令和６年度には、令和６年１１月１６日（土）にイオンモール富津にて実施をしました。

一般参加３８名、実行委員会１５名の計５３名が参加しました。

令和７年度は、令和７年１１月２９日（土）の実施に向け、毎月第３火曜日の実行委員会議等で話し合いを進めています。

続きまして、５ページをご覧ください。４．暴力・ハラスメント防止研修会についてです。

医療・介護の現場で働く方が日常的にさらされている暴力・ハラスメントのリスクについて、弁護士の観点から対応のポイントなどを学ぶ研修会を実施します。

令和６年度には、法テラス千葉法律事務所の金澤万里子弁護士と橋ヶ谷祐可弁護士を講師に迎え、在宅医療・介護現場における暴力・ハラスメントをテーマに講義いただきました。その後、班に分かれて事例について話し合う事例検討を実施しました。当日は、２１名の方に参加いただきました。

令和７年度は、昨年度に引き続き法テラス千葉法律事務所から弁護士を講師として招き、在宅医療・介護現場における暴力ハラスメント防止について、講演や事例検討を実施する予定です。

受講者の方のニーズに合わせて研修内容を変えていただけるそうですので、具体的なご要望がありましたら本日の会議後に事務局までお声がけください。

以上、今年度の予定についてご説明いたしました。委員

	<p>の皆さまには開催が近づきましたら改めてご案内をいたしますので、お忙しいところ恐縮ですが是非ご参加いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局の説明は以上です。</p>
竹内議長	<p>説明は終わりました。質問、意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
竹内議長	<p>質問もないようですので、事務局には年間スケジュールに沿って進めていただければと思います。</p> <p>以上で本日の議題はすべて終了いたしました。委員の皆さまから「その他」で何かございませんでしょうか。</p> <p>三辻さんどうぞ。</p>
三辻委員	<p>すみません、バイタルリンクのことをちょっとお尋ねしたかったんですけど、今実際使われてる利用者さん何名いらっしゃるか把握していらっしゃるから教えていただきたいということと、私比較的機械そんなに不得手じゃないんですけど私今ちょっと使えてないんですが、ちょっとやっぱりバイタルリンクを使うにハードルが高くて使いたいんですけども、まずうちのデバイスがどれでもいいかどうかというところがちょっと不明確だったりして、私としてはいつも持ち歩くこういうデバイス(タブレット)で使いたいんですけど、なんかそこら辺のちょっと私も、説明会に参加してなかったのがいけないんですけど、すいません。</p> <p>実際どれぐらい使われていて、もうちょっと普及したいなって私自身も思うんですけども、その普及するにあたっての何か工夫というか何かあったら教えていただきたいなと思い</p>

	まして。
竹内議長	いかがでしょうか、事務局どうでしょうか。 はいどうぞ。
事務局 (西野係長)	<p>バイタルリンクの利用の状況につきましては、今患者さんのグループとしては6名の方の患者さんのグループがあったと認識をしております。</p> <p>また市内で23の事業所ですとか医療機関の方に登録をいただいております。</p> <p>君津圏域全体では200を超える医療機関事業所の方に登録をいただいているところです。</p> <p>実際、そうですね、利用については、いろいろとお声もいただいておりますし、またあの例えば君津中央病院さんですとか、亀田総合病院さんでは違うシステムを使っているしやったりするということもあるようでして、こちらのバイタルリンクでいいますといわゆるあの開業医の先生というか、個人医院の方の先生を中心に介護事業者の方等と繋がるためのツールとして、実際には運用している場合が多いところなんですけれども。</p> <p>おっしゃられたような、ハードルの高さっていうところについては、また今年度もバイタルリンクの操作体験説明会予定しておりますので、ぜひご参加いただければというところと、その他あの、また随時ですね、この方の例えば対象の方がいらっしやいまして、この方についてグループを作りたいとかっていうことがありましたら、ご相談いただければこちらから行政の方から関わっていらっしやる関係機関の方にお声掛け等して、訴えかけといたしますか、そういったところで、進めてまいりたいと思いますので、そういうところでもぜひ</p>

	<p>気軽にご相談をいただければと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
竹内議長	<p>よろしいでしょうかね。</p> <p>他にどうでしょうか、ご意見ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>事務局から何かございますでしょうか。</p> <p>事務局どうぞ。</p>
事務局 (西野係長)	<p>2点、ご連絡いたします。</p> <p>1点目は、富津市在宅療養と在宅看取りのガイドブックについてです。</p> <p>昨年度委員の皆様から意見を頂戴し、取り急ぎ市のホームページに公開しております居宅介護支援事業所一覧について更新をいたしましたのでお知らせをいたします。</p> <p>2点目は、マイライフノートについてです。</p> <p>令和7年度一部修正したものを作成して、お手元に配布しております。お持ち帰りいただきご活用いただければ幸いです。</p> <p>また、複数必要な方は在庫がございますので、お帰りの際にお声がけいただけましたらお渡しできますのでよろしく願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
竹内議長	<p>ただいまの事務局の説明について、何かご質問とかご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>

竹内議長	<p>意見もないようですので、以上をもちまして、令和7年度第1回富津市在宅医療介護連携推進会議を終了いたします。</p> <p>どうもお疲れさまでございました。</p>
事務局 (西野係長)	<p>それでは事務局からすみません最後に。</p> <p>Zoomで参加の皆さまについては、各自退室の方をお願いいたします。ご来庁されている皆さまについては、正面玄関、職員通用口どちらからでもお帰りいただけます。</p> <p>皆さま、本日は平日のお忙しいところ、また、夜遅くまで、大変ありがとうございました。本日はお疲れさまでした。</p>